

目的 最近、ウーロン茶が脂肪を分解し、肥満防止の効果をもつ健康飲料として宣伝され、愛飲者が増えているとのことが聞かれる。事実、油っこい中華料理の後には、ウーロン茶がよく合うようである。そこで私共は、ウーロン茶に脂肪分解の作用があるか否かを、ラットに給与して吟味してみた。

方法 wistar 系ラット(♂) 6週令30匹を用い270日飼育した。予備飼育の後、四群に分り下表の給与条件で本飼育を行った。コレステロール飼料は、3%コレステロール含有

群	本飼育 前期	後期
1	基本飼料 + 水	
2	基本飼料 + ウーロン茶	基本飼料 + 水
3	コレステロール飼料 + ウーロン茶	コレステロール飼料 + 水
4	コレステロール飼料 + 水	コレステロール飼料 + ウーロン茶

飼料であり、ウーロン茶は鉄冠首茶(茶華貿易 K.K.)で、女子の茶葉を熱湯600mlで10分間浸出したものを用いた。飼料及び給水は自由摂取とした。飼育環境は、21~24℃、55±5%である。採血は、対照時(予備飼育時)

及び本飼育前期3回、後期3回実施し、総コレステロール(OPA法)、トリグリセライド(酵素法)及び血糖(グルコースオキシダーゼ法)等を測定した。

結果 総コレステロール値は、1群は加齢と共に増加を示した。本飼育前期については、4群が約40%増加を示し、3群の増加は約8%であり、2群は若干の減少がみられた。後期は飲水を変えたが、2・3群は約10%の増加を示したが、4群は減少の傾向がみられた。トリグリセライド値も、コレステロールと同様に低下がみられた。このことから、ウーロン茶は、脂質代謝を促進する効果のあるものと考えらる。